

南丹市要保護児童対策地域協議会の取り組みの概要

21. 5. 22 南丹市要保護児童地域協議会合同会議資料

◆ 南丹市要保護児童対策地域協議会の役割と相談内容

南丹市要保護児童対策地域協議会の役割として、市町村の相談体制の整備や情報提供、研修の実施、児童虐待防止のネットワークの企画、運営、個別ケース対応における進行管理などを重点に行っています。児童相談所や専門機関と連携しながら、一定の専門的ケア、保護者指導など専門性を要する困難事例への対応も行っています。

南丹市要保護児童対策地域協議会で応じる相談の内容は、きわめて多岐に亘りますが、要保護児童対策地域協議会や福祉事務所では、児童養護相談、障害児養育相談、DV・母子養育相談、児童養育相談の相談区分を行い、それぞれに担当職員や関係機関の職員、児童福祉司を配置して対応を行っています。

(1) 南丹市での児童虐待相談状況

平成20年度の相談・通告件数は下記の新規受理ケースが**41**件で、全相談件数中、児童虐待事案が**59**件（74%）を占めています。南丹市要保護児童対策地域協議会において、緊急度や重症度において比較的軽度と判断されたものについては、同協議会事務局である子育て支援課が独自で調査・対応して対応を行い、重度と判断されたものについては受理会議を経て、個別支援会議の開催や関係機関への情報提供、支援を行っています。

平成20年度継続及び新規児童虐待等相談の状況

()内は20年度新規受理

身体的虐待	心理的虐待	性的虐待	ネグレクト	不登校	子育て問題	養護問題	その他	計
17 (6)	12 (4)		30 (15)	2 (2)		18 (14)		79 (41)

(2) 児童虐待相談の内容

被虐待児の年齢と虐待類型の状況は上記のとおりですが、平成20年度の特徴として、保護者の怠慢・拒否（ネグレクト）の割合が高い傾向（79件中30件、37.9%）にあります。年齢別では、乳幼児、小学校低学年が増加傾向にあります。特に抵抗する力のない小さな子への虐待が顕著に表れています。主な虐待者は、実母が全体の66.6%、実父が20.2%という状況にあります。この背景として、「子育て」が核家族・少子化傾向の中、家族関係が単一的な状態となり、近隣との関係の希薄化と相まって、父母への育児負担と孤立化、経済的困難がますます深刻化していることが考えられます。

また、平成20年度の受理の特徴として、母子世帯での養育困難さからくるネグレクトや養育放棄の事例がさらに顕在化してきています。また、養育者のいずれか又は両方が精神疾患等の治療を行っており、そうした困難状況からくる様々な養育困難、虐待行為、虐待行為への恐れ

という状況が特徴的です。こうした状況の報告は、ほとんどが家庭からではなく、近隣者や知人、学校・保育所など周辺から相談・通告が多く寄せられるようになってきています。

児童養護相談の理由別処理事案として、児童の養育上不適切な家庭環境にある相談が多く、「養護困難」「虐待（疑いを含む。）」の訴え、通告に伴う養護措置（ショートステイ含む）は、数件に留まっています。また、保護者の離婚、傷病、家出（数日間の外出含む）等により家庭での養育が困難な児童の相談は前年度に比べて増加傾向にあります。

全体の傾向としては、児童が養育されている家庭環境を問題とする相談の背景は、経済的理由に加えて、家庭不和による別居・離婚、子育てへの精神的負担、核家族化による育児の孤立、保護者の精神疾患、DV（ドメスティックバイオレンス）など複雑・多様化し、子育ての基盤となる家庭機能の脆弱化がうかがえます。

(4) 児童虐待相談、支援の平成20年度の取り組み

相談を受けた事案に対しては、親子関係の調整や見直しの助言を行う助言指導、保護者と信頼関係が保たれた中で心理カウンセリング等専門機関への受診、各種検診等を勧告させる継続指導を行ったり、地域・関係機関の見守りを加えた継続（観察）指導により、必要な関係施設に入所させる他、家庭から施設に児童を入所させる入所施設措置、他の専門機関を斡旋する方法などで相談対応を行っています。

児童虐待は、心身の成長や人格形成に大きな影響を与えるとともに、次世代を担う子どもの育成を妨げる重大な問題です。児童虐待は、早い時期に発見し適切な対応をすることによって子どもの被害を最小限に食い止めることが重要です。

さまざまな相談業務を通して、対象児童の状況の改善、支援、対象の保護者等の心の深層をつかみ、ケースに応じた適切な支援計画を作り、働きかけることが重要です。固定的な支援計画に陥ることなく、多様な専門家とも連携しながら粘り強く働きかけることが、児童虐待の早期発見・早期対応に繋がっていくと考えます。

社会体育施設利用状況

施設名		平成18年度	平成19年度	平成20年度	備考
園部公園	海洋センター(体育館)	16,111	14,268	13,317	
	多目的運動場	17,560	13,703	14,715	
	スポーツ広場		8,611	11,418	
	陸上競技場	4,181	12,044	9,676	
	テニスコート	10,501	9,761	11,447	
	スパーク園部(ゲートボール場)	3,776	4,382	2,804	
園部スポーツセンター		6,595	9,746	8,440	
八木運動公園	グラウンド	10,129	12,317	10,128	
	テニスコート	2,716	2,587	1,944	
八木フィジカルセンター		5,755	3,683	5,118	
八木スポーツ フォアオール	トレーニングルーム	2,096	3,593	5,296	
	浴場	8,153	7,871	7,914	
	足湯	613	107	279	
八木文覚ふれあい公園		1,985	1,584	2,015	
八木西地区コ ミュニティ公園	グラウンド	6,187	6,810	8,387	
	テニスコート	3,677	4,188	4,546	
日吉総合運動広 場	運動場	11,398	7,642	8,266	
	テニスコート	1,824	1,624	1,439	
日吉アーチェリー場		206	152	181	
日吉ユースホール		2,750	1,746	2,755	
日吉広野球技場		3,227	3,241	3,150	
日吉殿田運動場		3,630	5,351	3,513	
日吉はーとびあ体育館		3,679	2,740	2,084	
日吉興風体育館		1,918	1,201	1,367	
日吉五ヶ荘野球場		1,657	1,549	1,286	
日吉五ヶ荘運動広場			830	1,488	
日吉五ヶ荘体育館			1,035	754	
長谷運動公園	野球場	3,135		2,899	
	多目的グラウンド	3,330		2,077	
	その他	30		134	
園部中央プール		1,243	1,674	999	
園部第2プール		2,267	2,204	1,953	
園部第3プール		3,091	2,961	2,226	
八木海洋セン	プール	4,723	4,613	6,150	
日吉興風プール		1,040	966	660	
計		149,183	154,784	160,825	

社会教育施設利用状況

施設名		平成18年度		平成19年度		平成20年度	
		件数	人数	件数	人数	件数	人数
園部公民館	大ホール	119	21,101	50	20,575	164	20,353
	実習室	146	1,196	133	1,348	123	1,068
	料理実習室	22	259	26	588	58	821
	和室(大)	179	1,826	179	2,357	228	2,378
	和室(小)	230	2,135	184	2,248	257	1,989
	練習室	142	2,857	128	3,333	177	2,666
	大研修室	111	4,848	114	4,955	143	3,650
	中研修室	224	4,671	232	3,812	304	5,682
	小研修室	335	4,029	263	1,717	373	4,308
	会議室	122	1,457	138	2,032	174	1,227
計	1,630	44,379	1,447	42,965	2,001	44,142	
八木公民館	和室1・2	202	1,223	169	1,892	160	2,007
	学習室1	91	439	67	273	47	254
	学習室2	168	631	174	548	179	418
	集会室1・2	176	2,145	195	2,375	169	2,274
	集会室3	180	1,354	164	1,637	156	1,791
	料理室	59	674	60	765	54	637
	大集会室	138	3,880	156	6,363	169	5,478
	計	1,014	10,346	985	13,853	934	12,859
日吉町生涯学習センター	会議室	303	5,012	319	5,103	332	5,468
	美術工作室	142	1,193	133	1,175	158	1,717
	湯沸室	14	137	28	242	28	275
	和室	69	476	84	573	84	670
	ホール	156	14,606	148	12,765	129	11,723
	リハーサル室	625	3,688	591	3,626	453	3,646
	IT研修室	95	602	64	488	46	250
	クラブミーティング室	175	1,950	258	2,358	299	2,929
	計	1,579	27,664	1,625	26,330	1,529	26,678
美山文化ホール	ホール	39	4,129	39	5,850	31	2,660
	会議室	187	3,427	310	3,510	223	2,780
	和室	65	515	97	679	34	386
	計	291	8,071	446	10,039	288	5,826

図書館・室利用状況

館・室名	平成18年度			平成19年度			平成20年度		
	蔵書数	来館者数	貸出冊数	蔵書数	来館者数	貸出冊数	蔵書数	来館者数	貸出冊数
中央図書館	65,615	26,641	86,238	68,571	28,929	89,990	70,163	25,132	79,810
八木図書室	30,060	11,139	32,218	33,384	12,412	32,981	34,798	12,006	32,807
日吉図書室	49,374	16,358	52,456	50,829	14,681	46,442	51,530	12,413	38,202
美山図書室	23,137	9,437	15,631	24,751	6,584	18,243	24,987	5,657	17,630
計	168,186	63,575	186,543	177,535	62,606	187,656	181,478	55,208	168,449

■ 平成19年度 市区町村別 図書館数、蔵書数と利用状況

市区町村別 図書館数、蔵書数 と利用状況	人口 (H19.10.1) ①	図書館数 ②	蔵書数 ③	人口1人 当りの 蔵書数 ③÷①	利 用 状 況						
					登録者数 ④	対人口比 ④÷①	貸出冊数 ⑤	蔵書 回転率 ⑤÷③	人口1人当り の平均 貸出冊数 ⑤÷①	団体貸出	
										団体数 ⑥	貸出冊数 ⑦
単 位	人	館	冊	冊/人	人	%	冊	%	冊/人	団体	冊
平成19年度計	2,594,498	65	6,132,020	2.36	998,131	38.47	12,098,966	197.31	4.66	2,244	425,198
京都府立計	-	2	1,176,941	-	68,169	-	202,216	17.18	-	14	87,963
京都市	1,468,588	18	1,597,166	1.09	259,963	17.70	5,447,844	341.09	3.71	215	25,955
福知山市	80,881	5	162,294	2.01	29,835	36.89	260,566	160.55	3.22	177	8,008
舞鶴市	90,447	5	227,193	2.51	106,216	117.43	347,960	153.16	3.85	556	28,208
綾部市	37,145	1	64,512	1.74	12,419	33.43	131,494	203.83	3.54	60	19,659
宇治市	191,185	3	289,420	1.51	123,274	64.48	891,261	307.95	4.66	29	7,417
宮津市	20,628	1	106,290	5.15	6,699	32.48	99,476	93.59	4.82	42	33,738
亀岡市	93,530	4	217,263	2.32	54,476	58.24	425,820	195.99	4.55	124	25,474
城陽市	80,780	1	293,907	3.64	47,294	58.55	575,220	195.71	7.12	69	11,381
向日市	55,143	1	135,596	2.46	38,557	69.92	281,124	207.32	5.10	3	-
長岡京市	78,878	1	211,437	2.68	55,948	70.93	447,256	211.53	5.67	43	8,407
八幡市	73,848	2	241,537	3.27	30,329	41.07	571,670	236.68	7.74	52	3,284
京田辺市	65,072	3	302,984	4.66	56,289	86.50	749,572	247.40	11.52	102	26,079
京丹后市	61,073	6	215,856	3.53	15,164	24.83	285,655	132.34	4.68	332	63,963
南丹市	35,990	4	172,205	4.78	11,632	32.32	151,188	87.80	4.20	106	8,940
木津川市	66,476	3	247,346	3.72	24,775	37.27	457,728	185.06	6.89	144	28,818
乙訓郡											
大山崎町	15,145	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
久世郡											
久御山町	16,549	1	116,595	7.05	11,900	71.91	95,308	81.74	5.76	28	3,529
綴喜郡											
井手町	8,786	1	68,893	7.84	3,565	40.58	84,839	123.15	9.66	35	4,392
宇治田原町	9,973	1	67,505	6.77	6,481	64.99	77,837	115.31	7.80	2	2,520
相楽郡											
笠置町	1,770	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和束町	4,741	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
精華町	35,117	1	135,924	3.87	27,950	79.59	411,206	302.53	11.71	69	21,293
南山城村	3,326	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
船井郡											
京丹波町	16,483	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
与謝郡											
伊根町	2,547	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
与謝野町	24,409	1	81,156	3.32	7,196	29.48	103,726	127.81	4.25	42	6,170

・ ・ ・ 調 査 概 要 ・ ・ ・

1. 調査名 南丹市市民意識調査
2. 調査対象 南丹市市政モニター登録者 70 名と市民の中から無作為に抽出した 1,400 名
3. 調査方法 調査用紙の郵送法
4. 調査実施期間 平成 21 年（2009 年）7 月 15 日～30 日
5. 調査時点 調査用紙に記入された時点
6. 回収結果

南丹市市政モニター	51 名（回収率は 72.9%）
無作為に抽出した市民	544 名（回収率は 38.9%）
合 計	595 名（回収率は 40.5%）

7. 調査項目

南丹市全般について、医療・福祉、子育て、商業や生活環境、防災や防犯、社会問題、地域活動、公共施設や行政サービスなど、8 つの分野 25 項目について調査をしました。

まず、アンケートの冒頭で、南丹市の「住みやすさ」と「魅力」という大きなテーマについてご意見を聞きました。「住みやすさ」や「魅力」というものは、様々な要因が重なって感じられるものだと考えられますが、まずは市民の皆さんが、直感的にどう感じておられるかを知ることが重要です。

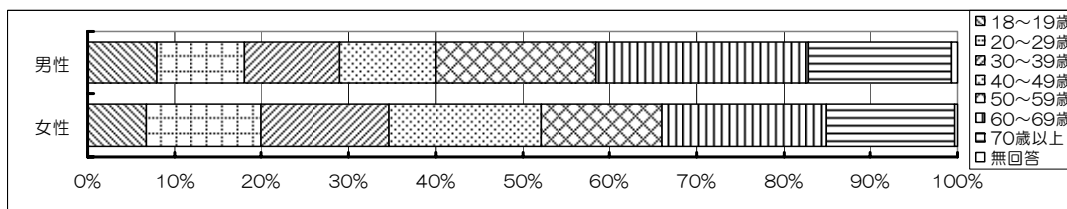
その上で、各々の設問を分析すれば、「住みやすさ」や「魅力」のある・なしの原因を探ることができると考えられます。

分 野	質 問 項 目
全 般	住みやすいと感じている市民の割合
	魅力あるまちだと感じている市民の割合
医 療 ・ 福 祉	過去 1 年間に運動をした市民の割合
	安心して医療を受けられる体制だと感じる市民の割合
	高齢者が安心して暮らせるまちだと感じる市民の割合
	障がいのある人が安心して暮らせるまちだと感じる市民の割合
子 育 て	安心して子育てできると感じている市民の割合
	地域で子育てができていると感じている市民の割合
商 業 ・ 生 活 環 境	南丹市内の商店（商店街）はにぎわっていると感じる市民の割合
	南丹市で生産された野菜などの産品を、意識して購入された市民の割合
	南丹市の自然や景観が適切に守られていると感じる市民の割合
	水道水はおいしいと感じている市民の割合
	CATVの整備により、都市部との情報格差は是正されていると感じる市民の割合
防 災 ・ 防 犯	災害や防犯に関する情報が、市からの確に提供されていると感じる市民の割合
	台風や地震などの災害に備え、避難場所や避難経路の確認、避難用具の準備をしている市民の割合
	防災の面で安心して暮らせるまちだと感じている市民の割合
社会問題	性別や年齢、国籍などによる差別事象は減っていると感じる市民の割合
	過去 1 年間に、人権に関する学習の取り組みをした市民の割合
地域活動	住んでいる地域には活力があると感じる市民の割合

地域活動	地域活動や市民の自主的な活動に参加した市民の割合
	地域で培われてきた風俗や伝統などは、自分たちが引き継いでいかなければならないと感じている市民の割合
	様々な分野において、大学などとの交流・連携が盛んに行われていると感じる市民の割合
行政サービス	過去1年間に市の公共施設（公民館や体育館など）を利用した市民の割合
	税金がまちづくりに有効的に活用されていると感じている市民の割合
	南丹市が行う行政サービスに、満足していると感じる市民の割合

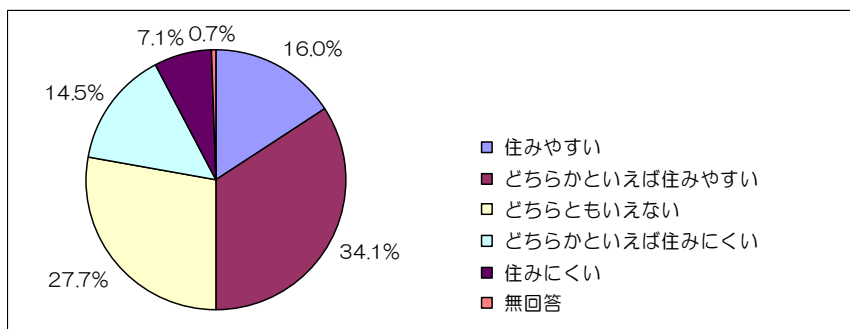
今回実施した意識調査の回答率は、前回（33.5%）に比べ+7ポイント増加し、40.5%となりました。一般的な統計の平均回答率が30%前後であることを考えると、多くの方が、南丹市の取り組みに関心を持っておられると考えられます。

まず、回答者について、男女別の年代別に分析してみると、女性は、10歳代を除いてほぼ同じ割合の方から回答が寄せられたのに対し、男性は、50歳台以上の方の割合が高いという結果になりました。



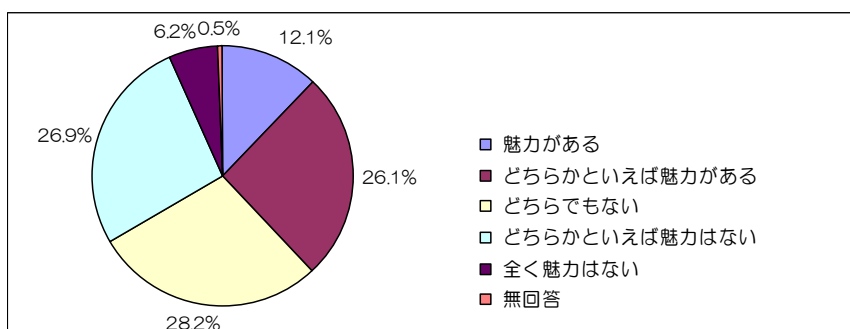
1 南丹市は住みやすいまちだと思うか？

「南丹市が住みやすいまちと思うか」という質問に対して、50%の市民の方が「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」と答えています。



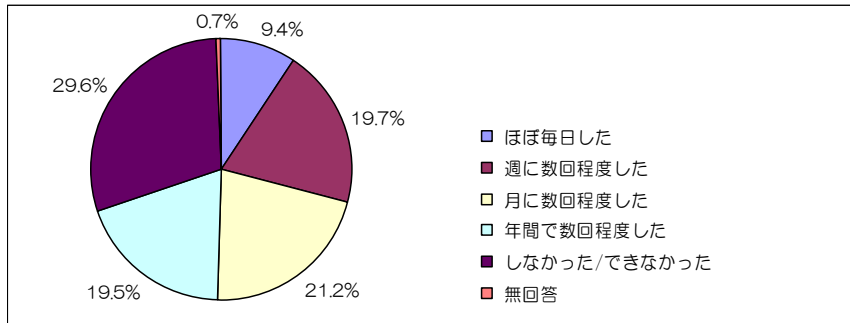
2 南丹市は魅力的なまちだと感じるか？

「南丹市が魅力あるまちだと感じるか」という問に対して、「魅力がある」または「どちらかといえば魅力がある」と答えた方が38.2%、「全く感じない」または「どちらかといえばそう思わない」と答えた方が33.1%と、若干の差はあるものの意見は二つに分かれた結果となりました。



3 過去1年間に健康や楽しみを目的とした運動をしたか？

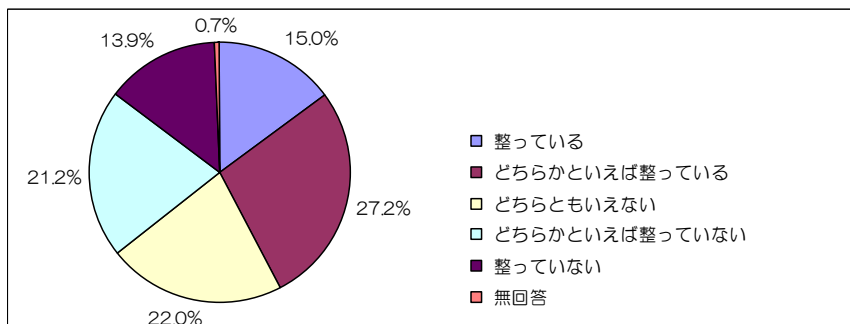
「過去1年間に、健康や楽しみのため運動をしたか」という問に対して、「運動をした」と答えた方は69.8%に達しており、市民の約3人に2人は健康や楽しみのために、何らかの運動をされていることになります。



4 安心して医療を受けられる体制が整っているか？

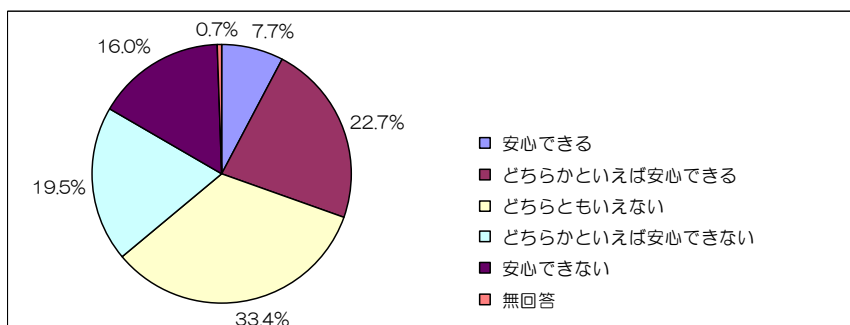
「南丹市において、安心して医療を受けられる体制が整っているか」という問に対して、42.2%の方が「整っている」または「どちらかといえば整っている」と答えています。

昨年度の意識調査では、「整っている」「どちらかといえば整っている」を含むと答えた人は63.2%あり、20ポイント以上減ったことになります。



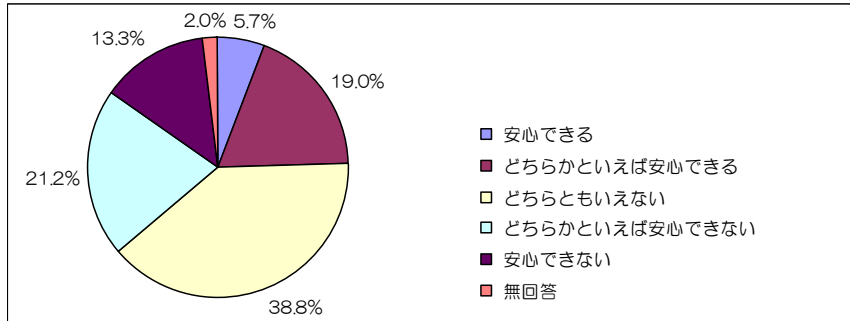
5 高齢者にとって安心して暮らせるまちか？

「南丹市が高齢者にとって、安心して暮らせるまちか」という問に対して、「安心できる」または「どちらかといえば安心できる」と答えた方は30.4%なのに対し、「安心できない」または「どちらかといえば安心できない」と答えた方も35.5%とあまり大きな差は生じていません。



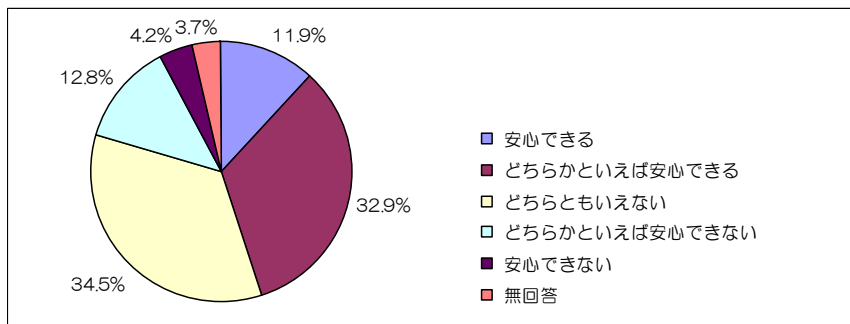
6 障がいのある方にとって安心して暮らせるまちか？

「南丹市が障がいのある方にとって、安心して暮らせるまちか」という問いに対して、「安心できる」または「どちらかといえば安心できる」と答えた方が24.7%なのに対し、「安心できない」または「どちらかといえば安心できない」と答えた方は34.5%と、10ポイント近く多い状態となっています。



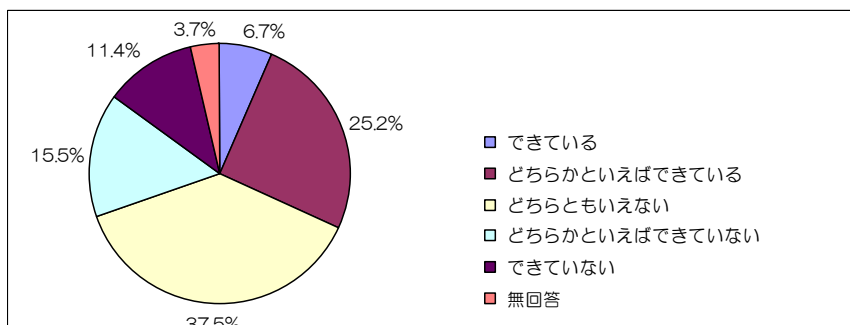
7 安心して子育てのできるまちか？

「南丹市が、安心して子育てのできるまちか」という問いに対して、44.8%の方が「安心できる」または「どちらかといえば安心できる」と答えられています。



8 地域全体で子育てを支援する仕組み作りができているか？

「お住まいの地域において、地域全体で子育てを支援する仕組みが整っているか」という問では、「できていない」または「どちらかといえばできていない」と答えた方の割合が26.9%という状況に対し、「できている」または「どちらかといえばできている」と答えた方の割合が31.9%となっています。



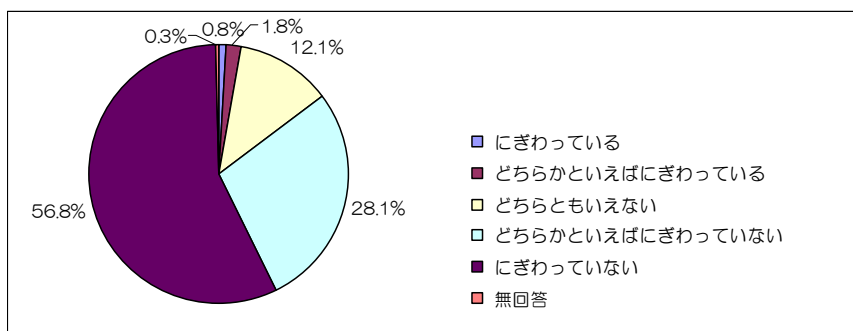
9 南丹市の商店街(商業)はにぎわっているか？

「南丹市の商店街(商業)がにぎわっていると感じるか」という問では、56.8%の方が「にぎわっていない」と回答されており、「どちらかといえにぎわっていない」を含めると、84.9%にもなります。

逆に「にぎわっている」または「どちらかといえにぎわっている」と答えた人は 2.6%という状態です。

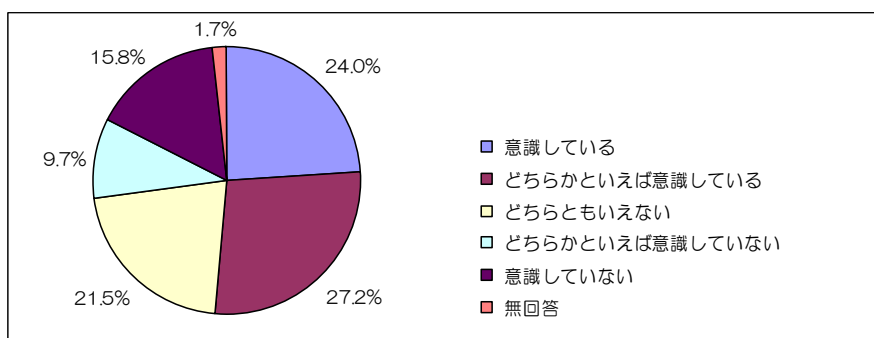
前回調査と比較すると、回答項目に「どちらともいえない」という回答を設けたため単純に比較することはできませんが、「にぎわっている」または「どちらかといえにぎわっている」と答えた方は、前回の5.5%から2.6%へと半減している状態であり、市の大きな課題の1つと考えられます。

なお、年代別にみても全体と同じ様な傾向であり、年代によって感じ方が異なるものではないことがわかります。



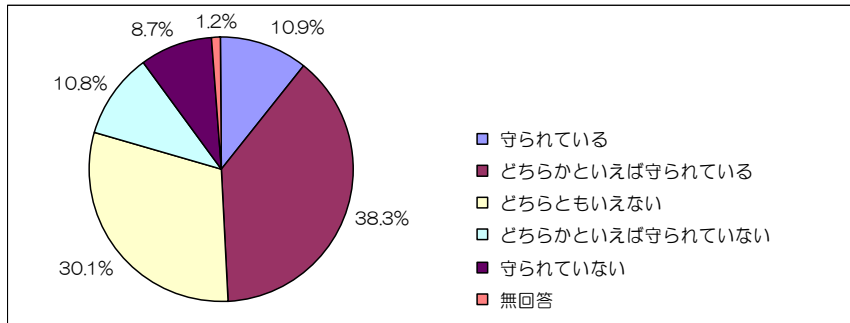
10 南丹市で生産された産品を意識して購入されているか？

「南丹市で生産された野菜などの産品を意識して購入されているか」という問に対し、24.0%の方が「意識して購入している」と回答されており、「どちらかといえ意識して購入している」を含めると53.2%になります。



11 自然や景観が守られていると思うか？

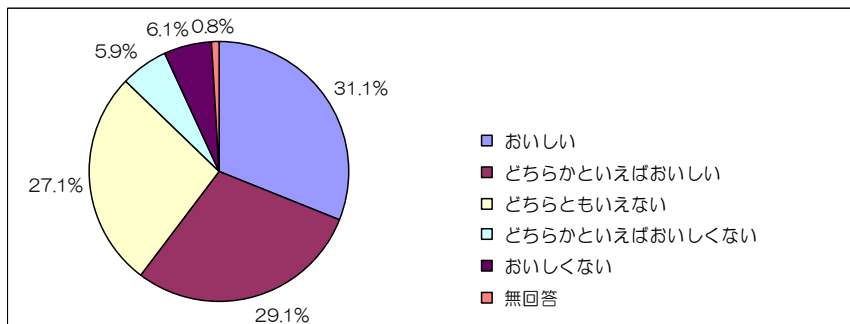
「南丹市において、自然や景観が適切に守られているか」という問では、「守られている」または「どちらかといえば守られている」と回答された方は 49.2%で、「守られていない」「どちらかといえばまもられていない」と回答した方の 19.5%を大きく上回っています。



12 南丹市の水道水はおいしいと思うか？

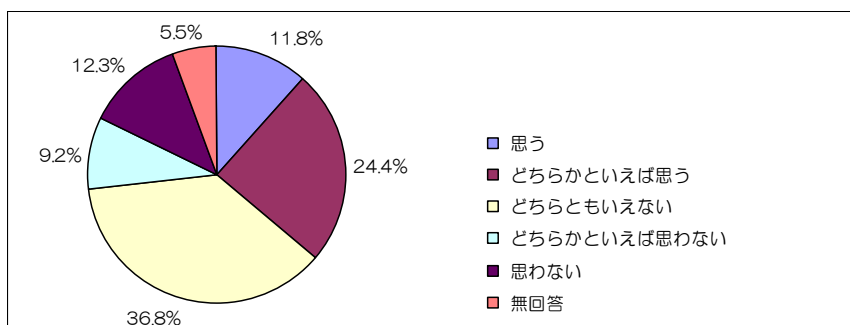
「南丹市の水道水はおいしいか」という問に対して、31.1%の方が「おいしい」と答えられており、「どちらかといえばおいしい」という回答も含めると 60.2%になります。

逆に「おいしくない」または「どちらかといえばおいしくない」と答えた方は、わずか 12%であり、市民の約 3 人に 2 人は南丹市の水道水はおいしいと感じておられるという結果になりました。



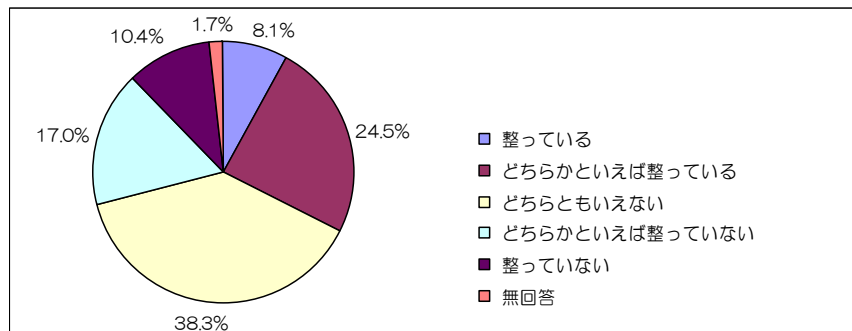
13 CATV の整備で、都市部との情報格差は小さくなったか？

「CATV 網の整備により、都市部との情報格差は小さくなったと思うか」という問には、36.2%の方が「小さくなった」または「どちらかといえばちいさくなった」と思っています。ただし、36.8%の方が「どちらともいえない」という回答をされています。



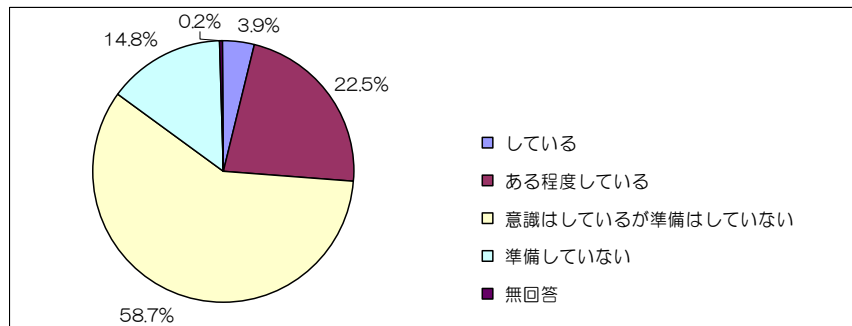
14 災害情報が、的確に発信される体制か？

「災害に関する情報について、市からの的確に発信される体制が整備されているか」という問では、32.6%の方が「整っている」または「どちらかといえば整っている」と答えています。



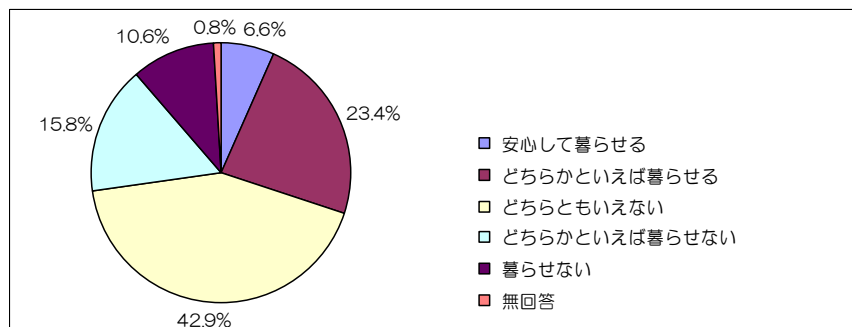
15 避難場所や避難経路の確認、避難用具の準備は？

「災害にそなえて、避難場所や避難経路の確認、避難用具の準備はしているか」の問に対して、「している」と答えた方は 3.9%、「ある程度している」と答えた方をたしても 26.4%で、市民の約4人に1人の方しか備えをされていないことになります。



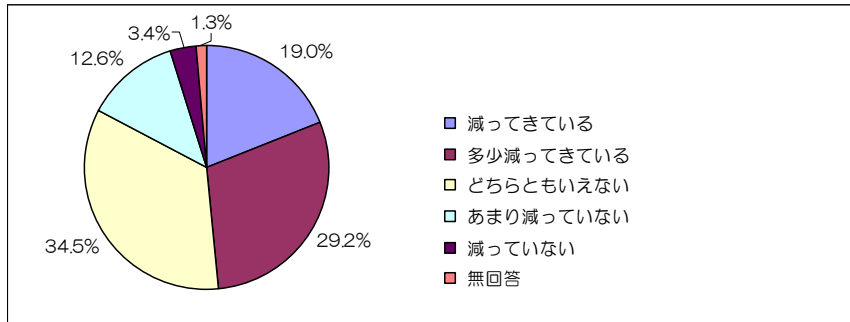
16 南丹市は、防災の面で安心して暮らせるまち？

「南丹市は、防災の面で安心して暮らせるまちか」という問では、「安心して暮らせる」または「どちらかといえば安心して暮らせる」と答えた方は 30%に留まり、「どちらともいえない」と答えた方が 42.9%と最も多くなっています。



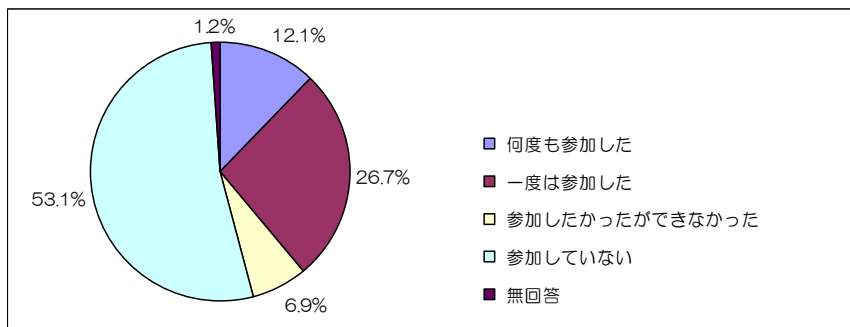
17 南丹市において、差別が減ってきていると感じるか？

「南丹市において、これらの差別が減ってきていると感じるか」という問では、48.2%の方が「減ってきている」または「多少減ってきている」と回答しているのに対して、「減っていない」または「あまり減っていない」と回答された方は16%と少ないことから、差別が減ってきていると感じる方のほうが多いといえます。



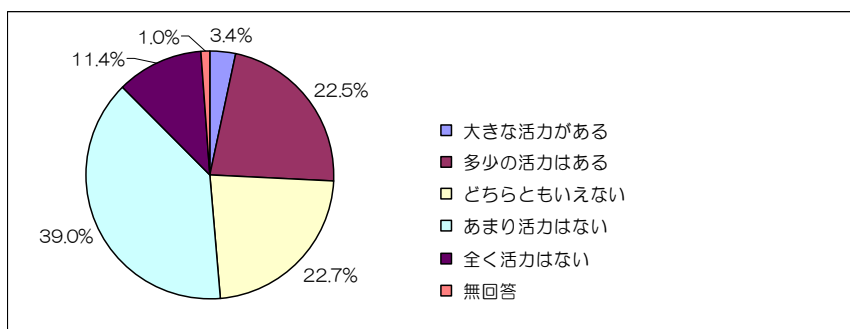
18 人権問題に関する勉強会等に参加したか？

「過去1年間に、人権問題に関する勉強会等に参加したか」という問に対して、38.8%の方が「1回以上参加した」と回答しています。



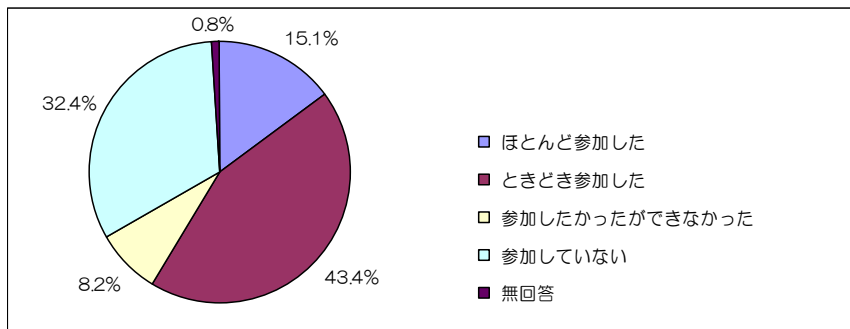
19 住んでいる地域には活力があるか？

「住んでいる地域に活力があるか」という問には、「大きな活力がある」または「多少の活力はある」と答えた方は25.9%と全体の4分の1強であるのに対し、「全く活力はない」に「あまり活力はない」と答えた方を加えると50.4%と全体の半分以上にもなります。



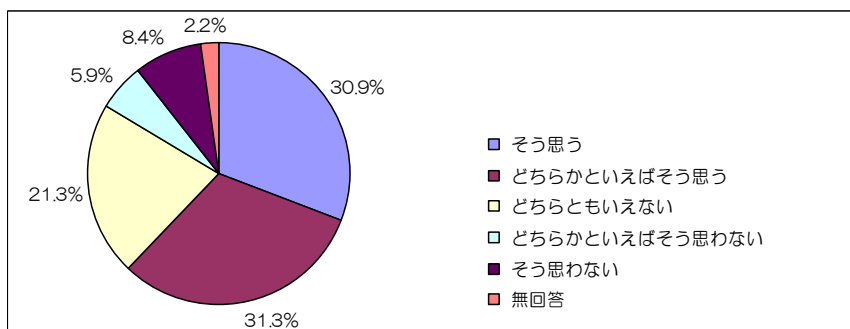
20 地域における活動や市民の自主的な活動に参加したか？

「過去 1 年間で、地域における様々な活動や、市民における自主的な活動に参加したか」という問に対しては、58.5%の方が「ほとんど参加した」または「ときどき参加した」と回答しています。



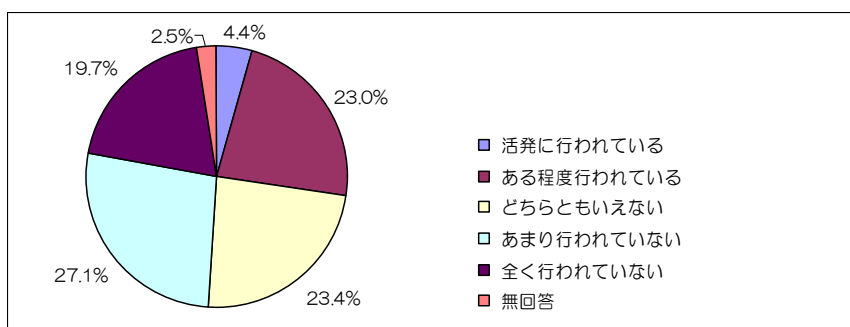
21 地域で培われてきた文化などを自分達が引き継ぐのか？

「地域で培われてきた風俗や伝統、文化などについて、自分達が引き継いでいかなければならないと思うか」という問では、62.2%の方が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と答えているのに対し、「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と答えた方は、わずか 14.3%で、多くの方が「自分達が引き継がなければならない」と感じていることがわかります。



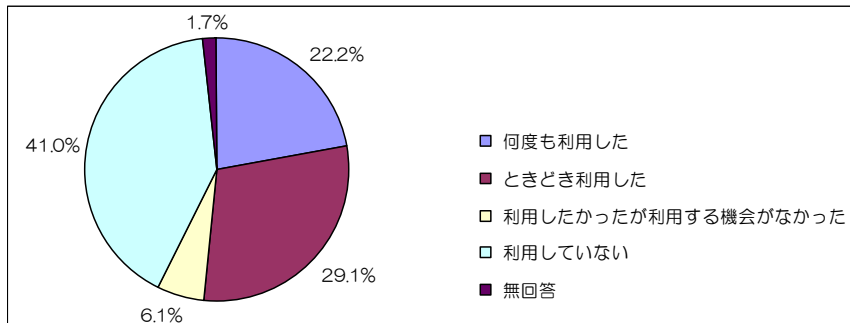
22 地域と大学などとの交流・連携は活発か？

「自分の住まれている地域において、大学などと、様々な分野の交流・連携が活発に行われているか」という問では、27.4%の方が「活発に行われている」または「ある程度行われている」と回答されているのに対し、46.8%の方が「活発に行われていない」または「あまり活発に行われていない」と回答されています。



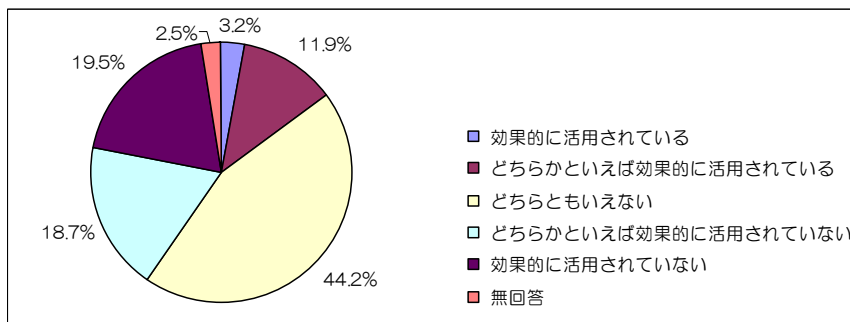
23 過去 1 年間に、公共施設を利用されたことはあるか？

「過去 1 年間に、市の公共施設（公民館や体育館など）を利用したことがあるか」という問に対し、51.3%の方が利用したと答えていますが、41.0%の方が利用していないと回答しています。



24 税金がまちづくりに効果的に活用されているか？

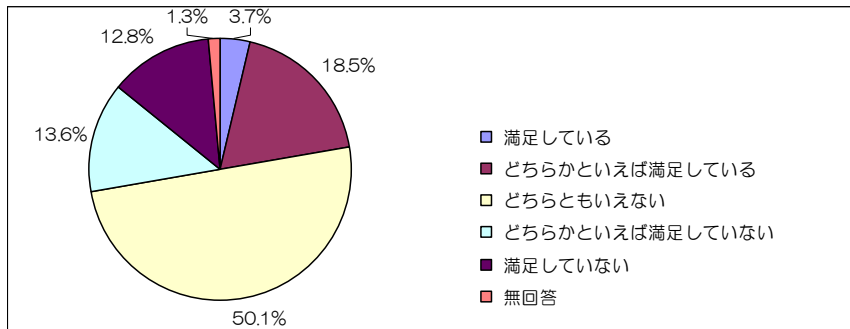
「市民の税金がまちづくりに効果的に活用されているか」という問では、「効果的に活用されている」と答えた方は 3.2%で、「どちらかといえば効果的に使われている」を含めても 15.1%しかありませんでした。反対に、「効果的に活用されていない」と答えた方は 19.5%で、「どちらかといえば効果的に活用されていない」をあわせると 38.2%と約 3 分の 1 にあたります。



25-1 南丹市が行っている行政サービスに満足しているか？

「総合的にみて、南丹市が行っている行政サービスに満足しているか」という問では、22.2%の方が「満足している」または「どちらかといえば満足している」と答えています。

また、「満足していない」または「どちらかといえば満足していない」と回答された方は 26.4%となっており、「満足している」（「どちらかといえば満足している」を含む）よりも、若干回答者の割合は高いものの、大きな差はありません。



25-2 行っている行政サービスに満足できない理由は？

問 25 で、「4. どちらかといえば満足していない」または「5. 満足していない」を選んだ方にどのような点が不満かを聞きました。

最も多かった意見は、「市域全体からみたととき、サービスに地域格差があるため」でした。

主な意見は下記のとおりです。

不 満 の 理 由	回答件数
市全体からみれば、サービスに地域差があるため	13 件
市（職員）の対応が悪い（職員の自覚が足りない）ため	10 件
どんなサービスがあるのか説明が少ない（解からない）ため	9 件
行政のスリム化（効率化）が図れていないため（職員数が多い）	9 件
交通の便が悪いため	6 件
旧町の時のサービスの方が良かったため	5 件
役所が、土・日・祝日休みなので不便なため	5 件
施策、サービスに偏りがあるため	4 件
よけいな所（無駄な道路整備など）にお金を使いすぎているため	3 件
申請書類の書き方や説明等がわかりづらいため	3 件
サービスに市民の声が反映されていないため	3 件
役所が遠く感じるようになったため	3 件
健康診断のやり方や会場が遠くなったため	2 件
税金や医療費が高いため	2 件
ゴミや粗大ゴミを捨てるのに料金が高いため	2 件
スポーツ広場にトイレがなく不便なため	2 件
過疎化が進んでいるため	2 件

南丹市行財政改革の進捗状況について

(平成21年9月10日現在)

1 南丹市行政改革推進計画の取組状況

平成20年度までの実施状況は、取組事項 207 件中「前倒して実施」「計画どおり実施」又は「19年度までに完了」のものが、113 件となっており、全体の 54.6 %が順調に進んでいます。

その一方で、「計画を先送り」としたものが 59 件、28.5 %となっており、取り組みが進んでいません。

基本事項	取組事項	取組 事項数	19年度 までに 完了	実 施			計画を 先送り
				前倒して実 施	計画どおり 実施	計画より遅 れている。	
将来を見据えた行財政運営を確立するための改革		81	4	3	33	21	20
	事業制度の適正化	23	1	1	6	10	5
	各種団体に対する対応の適正化	11	0	1	1	0	9
	財政運営の健全化	47	3	1	26	11	6
行政運営に市民が参画できるようにするための改革		46	0	0	19	6	21
	情報公開の充実	23	0	0	10	4	9
	広聴機能の充実と強化	6	0	0	4	1	1
	市民協働事業の推進と強化	17	0	0	5	1	11
多様な市民ニーズに対する確に対応するための改革		49	2	0	24	6	17
	行政事務の整理合理化	18	0	0	5	4	9
	行政サービスの向上	11	1	0	5	0	5
	職員人材育成の推進	20	1	0	14	2	3
市としての新しい行政スタイルを確立するための改革		31	3	0	25	2	1
	組織・機構の見直し	12	0	0	11	1	0
	職員定数等の適正化	19	3	0	14	1	1
計		207	9	3	101	35	59

2 南丹市経営改革プランの取組状況

(1) 平成20年度までの取り組み効果額 (平成19年度～平成20年度)

	金額
歳出効果額	375,327 千円
歳入増加額	100,063 千円
総 額	475,390 千円

(2) 取組項目ごとの歳出効果額、歳入増加額

(単位：千円)

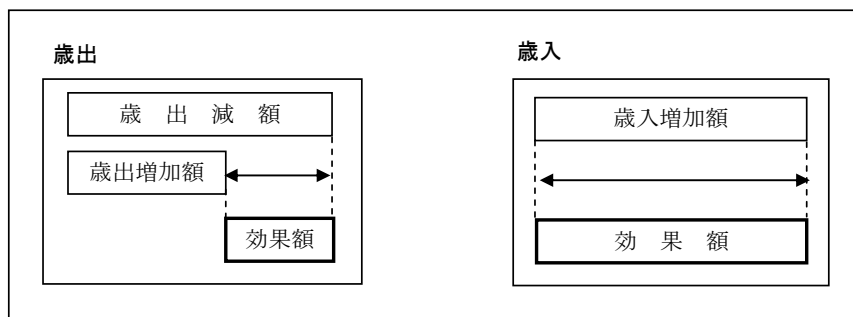
取 組 項 目	歳出効果額	歳入増加額
職員等の定員の適正化	149,335	0
人件費の適正化	73,266	0
事業評価による事業の抜本的な見直し	28,109	0
事務経費等の削減	88,098	0
事務の外部委託（アウトソーシング）の推進	5,440	0
公的支援団体の支援の見直し	31,079	0
公共施設の有効利用・移管等の実施	0	0
税や料における徴収率の向上	0	65,697
税や料金の見直し	0	506
企業誘致の促進	0	33,860
市民協働の推進	-	-
公聴機能の充実と強化	-	-
情報公開の充実	-	-
計	375,327	100,063

3. 人的削減効果額 (定員適正化)

(単位：人)

		定員適正化計画額	平成20年度までの実績
職員数	増 減	△ 11	△ 26
	定 数	454	439

4. 効果額算定の考え方について



3 南丹市経営改革プラン 年度別実施目標 ・ 進捗状況

項目	目標 (5年間)		区分	年度別 実施目標 ・ 実施実績					進捗率	
	内容	目標値		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
ひと	職員等の定員の適正化	職員数を削減する。	38人	目標	6	11	18	30	38	68.4%
				実績	12	26				
		嘱託職員、臨時職員の任用を削減する。	46人	目標	10	21	30	40	46	0.0%
				実績	32	0				
	人件費の適正化	人件費の適正化による人件費の削減	6.5%以上	目標	1.3	2.6	3.9	5.0	6.5	1.5%
				実績	0	0.1				
時間外勤務手当の削減		6.6%以上	目標	1.3	2.7	4.0	5.1	6.6	621.2%	
			実績	22.5	41.0					
審議会の開催手法の見直しによる人件費の削減	5.4%以上	目標	1.1	2.1	3.2	4.3	5.4	213.0%		
		実績	2.3	11.5						
もの	事業評価による事業の抜本的な見直し	全事業を評価し、手法、経費等の見直しをかける。	815事業	目標	0	74	684	815	815	9.1%
				実績	0	74				
	事務経費等の削減	消耗品に係る経費を削減する。	17%	目標	3.0	5.0	10.0	14.0	17.0	158.2%
				実績	10.1	26.9				
		電気料金、上下水道料金を削減する。	6.5%	目標	1.3	2.6	3.9	5.0	6.5	0.0%
				実績	0.0	0.0				
		燃料費を削減する。	6.5%	目標	1.3	2.6	3.9	5.0	6.5	0.0%
				実績	0.0	0.0				
	郵送代等(通信運搬費)を削減する。	6.5%	目標	1.3	2.6	3.9	5.0	6.5	78.5%	
			実績	4.7	5.1					
	公用車の管理台数を削減する。	15台	目標	3	5	9	13	15	53.3%	
			実績	4	8					
	事務の外部委託(アウトソーシング)の推進	外部委託を推進する。	20業務等	目標	1	1	4	12	20	0.0%
				実績	0	0				
公的支援団体への支援の見直し	中止、廃止又は凍結を含めて見直す団体補助	10団体	目標	10	10	10	10	10	20.0%	
			実績	0	2					
	30%削減を前提に見直す団体補助	33団体	目標	33	33	33	33	33	42.4%	
			実績	2	14					
公共施設の有効利用・移管等の実施	集会所施設の移管を実施する。	14施設	目標	14	14	14	14	14	0.0%	
			実績	0	0					
かね	税や料における徴収率の向上	税、料の徴収率を向上させる。	98.8%	目標	98.1	98.7	98.7	98.7	98.8	0.0%
				実績	97.8	96.7				
	税や料金の見直し	減免規定等を見直す。	29料金等	目標	7	26	27	29	29	65.5%
				実績	0	19				
		使用料、利用料を見直す。	18料金等	目標	1	5	11	18	18	27.8%
				実績	0	5				
	税率を見直す。	1税	目標	0	0	0	1	1	100.0%	
			実績	0	1					
企業誘致の促進	企業誘致による新規操業企業数	10社	目標	3	7	7	10	10	60.0%	
			実績	4	6					
市民	市民協働の推進	(仮称)まちづくり条例の制定	1条例	目標	0	0	0	1	1	0.0%
				実績	0	0				
	公聴機能の充実と強化	行政懇談会の実施	3回	目標	0	1	2	2	3	33.3%
				実績	0	1				
		意見交換会の開催	3回	目標	0	0	1	2	3	33.3%
				実績	0	1				
	市民意識調査の実施	6回	目標	0	1	3	5	6	16.7%	
			実績	0	1					
情報公開の充実	事業・制度に関する情報公開	14回	目標	0	2	6	10	14	42.9%	
			実績	0	6					
	補助団体の決算、実績報告の情報公開	43団体	目標	0	0	10	43	43	0.0%	
			実績	0	0					
財政状況、今後の見通しの情報公開	3回	目標	0	1	2	3	3	33.3%		
		実績	0	1						